

学校と地域のつながり

学校・地域のイベントや児童・生徒の活躍は地域の誇り

(文責は編集事務局)

「権六谷戸物語」のラストを大胆なダンスで！

12月5日の体育館、4年生82名全員が大河ドラマ「天地人」のオープニングテーマ曲に合わせて踊っていました。このダンスは、西野川小学校創立30周年記念式典の一コマで、野川の里「権六谷戸」にまつわる言い伝えを戯曲化したものです。手で打ち鳴らす音と足踏みの音が醸し出すダイナミックなリズムが体育館一杯に広がり、参加者はその迫力に圧倒され引き込まれていました。



自信に満ちた演技

夏休みから西山先生を中心に台本づくりにかかり、9月末よりダンスグループと演劇グループに分かれての練習開始。ダンスグループは、音楽のリズムと体の動きがなかなかしっくりこなく何度も繰り返し、また演劇グループも動きに合わせた声の出し方が早口で小さく、本番の2週間前から児童自ら朝練を志願。そして皆な歯を食い縛りながら頑張り、当日の自信ある演技は、達成感に満ち溢れていました。

(担当は4年生担任の上原、榎間、西山の各先生)

スピード感あふれるチームプレー！

毎朝、正門前・体の坂道を清掃しながら行き交う人に笑顔で「おはようございます」。この姿に近所の方は、朝のすがすがしさを感じています。



さあ、気合いを入れて

この口調がソフトボール部の1日の練習の始まりなのです。

北京五輪女子ソフトボール日本代表が金メダルを取り、盛り上がっていますが、その魅力は、投手の速球はもとより打者や野手のスピード感あふれるチームプレーにあります。

昨年の県大会ではベスト8と健闘し、その要因はそうした基本に沿った監督の厳しく愛情のある指導とチームワークそして守備の要であるキャッチャーのインサイドワークの巧みさ、運動能力の高さにあったと言えます。今の2年生は、練習に対する意気込みや団結力は、先輩を上回るものを持っており、その活躍が期待されます。(顧問は、新海、松原の各先生)

職人氣質と芸術性の追求！

放送芸術部は、他校には見られない美術班と放送班から成り立つ伝統あるクラブです。秋に正面校舎に掲げられた7本の「祝〇〇部 県大会出場！



作品「飛翔」

の垂れ幕はすべて生徒と教員の手製、また芸術祭の出品作品は教室まると黒布で覆いそこに蝶などをあしらひ、参加者を幻想の世界に誘う「飛翔」を描くなど美術班は職人的センスと芸術の創造を併せ持ち、学校全体のモチベーションの高揚に一役買っていることが伺えました。また放送班は、昨年半和の願いをこめた「登戸研究所」をテーマにドキュメントビデオの製作に挑戦し、その苦勞が報われ、市中学校放送コンテスト・テレビ部門の最優秀賞に輝きました。そして看板作りには、放送班が協力するなど両班は和気あいあいに日々創作活動に取り組んでいます。

(顧問は、美術班中村、小坂、放送班山崎、伊藤の各先生)

ラリー応酬の見ごたえ！

力強いラリーの打球音、突然ボールとスマッシュの応酬！見応えのある試合展開が魅力の日本で生まれた数少ないスポーツのソフトテニス。



練習あるのみ

惜しくも大会では、初戦で敗退したものの、意欲的に活動し、着実に力を着けてきており、これからが楽しみとされています。

それぞれの技術プラスふたりのコンビネーションプレーと周りの応援や協力が求められ、コートに入ったら学年に関係なく同じ条件…。そのため瞬時の判断に際し、失敗を恐れず前向きに戦うためには練習あるのみ。そうした日々の中で、マナーやルールを学び「愛される人間」「愛されるチーム」になってくれることを期待しているとのこと。(顧問は、熊谷、五十嵐各先生)

編集後記

ほかの地域とのつながりが少しでも深まればと思い、4年前から毎朝校門であいさつを続けられ、現在はPTA等と一緒にあいさつ運動に進められている西野川小学校の高橋校長先生に執筆をお願いしました。快く引き受けて頂き、あいさつは1日のスタートに心が和み、学校全体が落ち着いてきた感じがするとのこと。感謝状を頂いても引き続き自然体で皆さんと共に進めていきたいと思っています。(息、辻本、鈴入)

野川台自治会

あいさつ運動の輪

発行：野川台自治会
 発行者：野川台自治会長
 川崎市宮前区
 TEL
 協力：西野川小学校PTA
 野川中学校PTA
 編集：あいさつ・防犯運動事務局



学校と地域の連携によるあいさつ運動の拡がり



声をつなぐ、心をつなぐ

西野川小学校教頭 宮本 照久

「おはよう」の声。それにこたえる「おはよう」の声。この瞬間にお互いの気持ちがつながります。たったひとりで、「今日もがんばろうね。」「元気だった。」などさまざまな思いが伝わります。

あいさつの大切さは、誰もが分かっているはずですが、でも、なかなか声に出せないと感じている子どもも多いと思います。毎週、正門で行われている「西野川小学校、朝のあいさつ運動」は、そんな子どもたちにとって大きな声を出してあいさつをするよい機会となっています。大きな声であいさつをした子どもたちの学級では、「おはようございます」と元気に1日のスタートが切れています。階段ですれ違う時にも、「おはようございます」「こんにちは」と言える子が増えてきて、大変うれしく感じています。

小学校の正門での経験が、学校中に、そして町全体に広がっていってくれることを願っています。

あいさつの不思議な力

野川中学校教頭 金子 勉

1996年アメリカの公立中学校で教える機会がありましたが、現地の校長先生が、毎朝子どもを正門で出迎えている光景をよく憶えています。その頃の日本ではあまり広まっていなかった習慣でしたが、今ではすっかり定着しました。

声を出して「おはようございます」というだけで、気持ちが晴れるのはとても不思議なものです。たまに返事が返ってこないことがあっても、あいさつすることそれ自身に何か力があると思われま。

野川中学校のあいさつ運動は、特に地域の方々の支援を受けて大きく広がりました。標語シールもずいぶん数が多くなり、充実したコースレターも定期的に発行されています。毎朝大人が、通り過ぎるひとりに声をかける時、子どもの心に何か不思議なものが届いているのだと思います。あいさつの力は不思議な力です。



朝のあいさつ運動

二年間の運動を振り返って

野川台自治会長 津田 知充

地域と学校・PTAが一緒になって「あいさつ運動」を始めて2年。「あいさつするといいい気分になるよ！という子どもの声、あいさつする子どもが多くなったね、元気をもらっているよ！」という地域の人の声が開かれるようになってきました。また卒業する三年生が中学で学んだことを聞かれた際「あいさつ運動を挙げたとのこと…。ひとり一人の日々の積み重ねの大きさを感じさせられました。そうした中で野川地域の他の学校でも形は違うものの地域の人のあいさつ運動をしているとのこと、お互いに協力しあって5年～10年のスパンで進めていけたらと思っています。

なお、自治会は防犯灯の再整備、公園の美化、違法駐車防止等ハード面の対応も車の両輪で進めています。

あいさつ運動の励み！

あいさつ運動に関し、昨年9月、自治会は地域の安全安心に貢献したとのこと県防犯協会から感謝状。11月には西野川小学校PTAが、学校・家庭・地域での優れた諸活動で県教育委員会から表彰状を頂き、その活動のひとつにあいさつ運動が挙げられています。





前回まであいさつ運動が、子どもの健やかな成長、犯罪の抑止、地域の教育力の回復につながることに触れてきました。今回はあいさつを交わすことが、人と人との間柄を深め、支え合う地域コミュニティづくりにつながることにについて取り上げてみました。

支え合う地域コミュニティ形成の期待

人と人とのつながりが薄れ、幼い子どもが犯罪に巻き込まれたり、虐待を受けたり、お年寄りが振り込め詐欺や悪質商法の被害にあったり、さらには引きこもりや孤独死などのニュースが報道されていますように近年、行政、地域、家庭を取り巻く環境とあり様が変わってきています。

厳しい財政と少子高齢化社会を迎え、こうした今日の社会が抱えている問題に対応していくためには、行政だけではなく、やはり地域住民の力も必要となっています。そのため住民が、近隣における人と人とのつながりの大切さを認識し、時代に合った支え合う地域コミュニティの再構築が緊要の課題となっています。

あいさつは、気づき、見守り、支え合いのはじまり

あいさつは、人と人との出会いの始まりです。あいさつを通じて、近所の方と顔見知りになり親しくなれば、おのずと人を思う心が生まれ、気づいたり、それとなく見守ったり、支え合う関係になります。それ故人と人との間柄を大切に作るあいさつ運動は、支え合う地域コミュニティを築くひとつのきっかけであり始まりと受け止めています。勿論、気づき支え合う関係は、福祉や教育の面だけでなく、防犯、防災、交通等すべての活動にも及んでいます。

これからも地域と学校・PTAが協力し合って、「あいさつが行き交うまちづくり、そうした風土づくりを日ざしていききたいと思っています。(事務局)

あいさつ運動参加者のご案内

子どもの健やかな成長や犯罪の防止を願って下記のあいさつ運動をしています。皆さまの参加をお待ちしています。都合のつく日でかまいませんのでご参加ください。子どもたちから元気もらえると思います。

- ①「朝のあいさつ運動（毎月第1、第3火曜日）」
西野川小学校 正門 AM 8:00～8:30
- ②「パトロールを通じたあいさつ兼防犯活動」
○ 小学校班（毎月第2水曜日、園地向パトロール）
西野川小学校集合PM 1:00～2:00
○ 中学校班（毎月第3水曜日、園地向パトロール）
野川中学校正門集合PM 3:00～4:00

「問合せ先



パトロールへ出発！

阪神・淡路大震災の教訓

——いざという時に頼れる近隣の力——

「阪神・淡路大震災では、6千人を超える人が犠牲になったが、要救出者3万5千人のうち、約8割の2万7千人が、家族や近隣住民により、救助されたと言われている」（「巨大地震」より）

このことから、一刻を争うような災害時の救出活動は、日頃から隣近所の人たちが、声掛けや見守りなどお互いに知り合っていることが、いざという時の助け合いの大きな力になることが、改めて認識されました。その意味で究極の防災対策は、究極の福祉対策とも言われています。

●——ふるさと、わがまち——●

ふるさととは一体何だろうか。

当地に移り住んで50年。ところが一向にここがふるさとという気持ちが湧いてこないのです。理由はさまざまありますが、その一つには子どもの頃の記憶にこの土地が結びつかないことによると思います。これはどうしようもないことですが決して幸せなことでは無かろうと思います。

野川台がわがまちと思えるようにと、自治会が今、取り組み始めました。子供達の要望を「あいさつ運動」という形で受け止め、その第一歩を歩みだしました。この運動を私とあなたがこれからどのようにつなぐか、それがふるさとへの遠くて近い道となることだろうと思います。(事務局)

暖かさほんもの。手作りの家 牧野工務店 〒616-0031 川崎市宮前区野川3192-6 TEL 044-777-0621 お気軽にご相談ください。介護保険使えます	お菓子サロン <i>La Fontaine</i> ラ・フオンテーヌ 10:00AM～6:00PM 月曜 火曜 定休 〒216-0001 川崎市宮前区野川3017 PHONE/FAX 044-755-7828
--	---



あいさつ運動に参加して

西野川小学校 2年生

あいさつうんどうで、あいさつをしたら、あいでもかえしてくれてうれしかった。あいさつをしたら心がすっきりした。あいさつをしたらあいてがわらってくれてうれしかった。あいさつをしたらすこしこえが大きくなった。(2年1組 小林 ゆいな)

あいさつうんどうをして、朝から大きな声を出してきもちがよかったです。いやなことととんで行きました。(2年2組 しまだ こうたろう)

あいさつをして、ところがぽっかぽかになって、あいさつを大・大・大すきになりました。(2年2組 長おか なつみ)

生徒会活動を通じて

野川中学校生徒会副会長 伊藤 嵩人

僕はあいさつ運動を通して感じたことがいくつかあります。その一つはあいさつの大切さです。当たり前のことですが、小学生から中学生になるうであいさつをする人が急速に減りました。だから僕は、できるだけあいさつをしてくれる人を増やす努力をして、あいさつが誰でもできる学校をつくっていききたいです。

野川中学校では、毎週、週帯活動が行われています。各クラスから2名ずつ参加してあいさつをしていて、最近では、たくさんの人たちが週帯活動に参加してくれています。僕はあいさつ運動に参加してたくさんの人にあいさつすることができて本当に良かったです。

あいさつ運動に参加してくれた人たちに感謝をしています。



週帯も参加するあいさつ運動



みんな、気をつけてね！

● Eyeの愛で察する運動の広がりを ●

あいさつ運動で気持ちのいいあいさつが返ってくると元氣になります。でも、たとえ元氣なあいさつが返ってこなくても、あいさつ運動を続けることは大切だと思います。あいさつを返せないのは、出がけにお母さんに怒られたからかもしれません。なんらかの原因があるなら、なおさらのこと元氣な声をかけ、“つらいことがあっても地域の人たちが見守ってくれている”という安心感を与えたいものです。あいさつ運動が大地震でさえも壊せない心のつながりをつくり、温かいまなざし(Eye)の愛で察する運動へと広がっていくことを願います。(PTAのOB)

あいさつは心の窓

南野川小学校校長 高橋 邦夫

私は、入学式の最初には「あいさつのできる子になりましょう」と話しています。私が毎朝、登校時に正門に立っていますとたくさんの子どもたちが元氣にあいさつしてくれますので、とても爽やかです。毎朝の「おはようございます」の一言により、一日のスタートに心が和みます。「あいさつは心の窓」とも言われますが、とても大事です。

南野川小学校では、子どもたちの間から代表委員を通して、あいさつ運動を行いたい…との提案がありました。それを受けて、保護者の皆さんからもPTA活動の一環として朝のあいさつ運動にご協力くださることになり、月に2回ですが、クラスごとに分担して担任と保護者の方に正門と南門に立っていただいております。その時には、民生委員の皆さま、町会役員の方々もお越しくださり、あいさつの輪が広がってきています。地域の皆さまのご協力に感謝し、これからも続けていきたいと思っています。